

りふ 議会だより

6月定例会

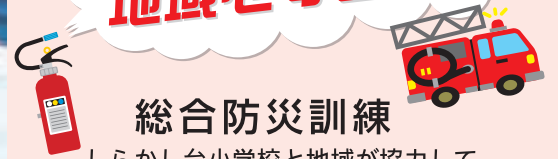
CONTENTS

議会報告会……………	2
12会場で3日間にわたり開催	
補正予算……………	6
被災者特別健診 県補助金大幅減	
一般質問……………	10
7人の議員が20件を質問、町の考えを質す ^{ただ}	
追跡レポート……………	20
館山公園整備の取り組みは	



(撮影：議会広報常任委員 安田 知己)

僕たち 私たちも
地域を守るぞ!



総合防災訓練

しらかし台小学校と地域が協力して、参加型の訓練が行われました。

自助と共助で地域防災力を高めましょう。
(6月19日)



 No. 162

発行日 平成28年7月29日

RAKUTEN
EAGLES

「楽天二軍本拠地のまち」
議会も応援しています



会を開催 しました

町内12会場 160人参加



議長





開かれた議会を目指して

第4回

議会報告



副議長

本町議会として4回目となる議会報告会を、5月13日から15日までの3日間、町内12会場で開催しました。

3日間の参加者は、延べ160人、1会場平均13.3人で、どの会場でも活発な意見交換が行われました。アンケート結果などからも、報告会開催にはおおむね肯定的な意見をいただきました。

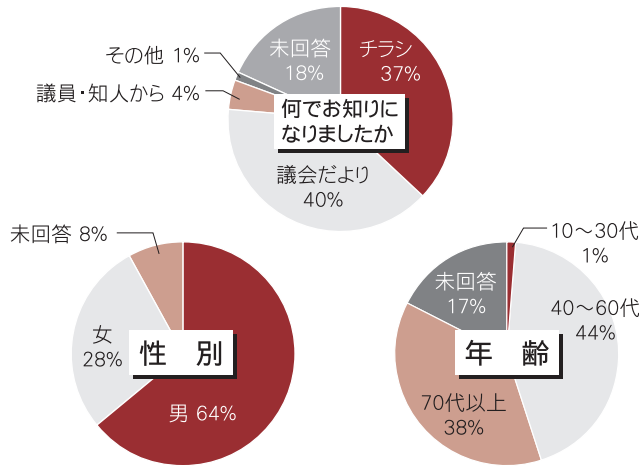
詳細は次ページをご覧ください。



参加者状況

	13日(金) 19:00~	14日(土) 10:00~	15日(日) 10:00~	計
A班	十符の里プラザ 21人	神谷沢コミセン 13人	総合体育館 23人	57人
B班	春日一部集会所 17人	菅谷台二丁目集会所 11人	野中一部公民館 11人	39人
C班	赤沼公民館 14人	浜田地区避難施設 6人	夢民館 13人	33人
D班	菅谷公民館 8人	沢乙公民館 12人	葉山集会所 11人	31人
計	60人	42人	58人	160人

アンケート集計結果



利府町議会では、「開かれた議会」、「顔が見える議会」を目指し、町民の皆様へ直接議会の活動状況を知っていただくと同時に、議会や町に対する貴重なご意見等を伺うため、議会報告会を開催してきました。4回目となる今回は、議員16人が4班に分かれ、町内12会場で実施しました。議会からの報告は、「議会だより」をもとに28年度予算の概要説明と、「町の現状」と題した主要な3事業の状況報告を行いました。

町営墓地や文化複合施設に意見集中
 たくさんのご意見・ご要望ありがとうございました

アンケートでいただいた ご意見・ご要望

【継続開催】

- ・ 2回出席したが、今年がとても良かった。
- ・ 一方的な報告会ではなく、住民の意見を聞く姿勢が見られた。
- ・ 初めて出席した。「議会だより」は読んでいたつもりだったが、報告会に出席してみるとあらためて色々な事業の内容が分かり良かった。

【開催時期・時間・会場等】

- ・ 継続して幅広い層、町民が集えるよう配慮してほしい。
- ・ このような機会をつくるのは、とても良い。ただし、参加者が年齢の高い人ばかりである。子育て中の若い世代が参加しにくい時間ではないだろうか？日時の検討を。

【周知方法】

- ・ 参加者が少ないのは毎回同じで残念である。もっと多くの人に参加して欲しい。

【その他】

- ・ 報告会での意見を議会で提案、町行政で実施できるようにしてほしい。
- ・ 町行政に関する問題が多いので、町行政の担当者も出席できれば良いと思う。

【議員に関すること】

- ・ 覚悟を持って議会運営、まちづくりをして欲しい。
- ・ 議案によっては議員間で自由討議する機会を多く持ったほうが良い。

【まちづくり】

- ・ 「住んでよかった。住んでみたい。」という町のスローガンがある。これからも町民が増えていく中で、障がい者もちゃんと働ける場所を作り、「住んでよかった」と思う町にして欲しい。
- ・ 東部開発は、いろいろな面から取り組んで欲しい。

ご協力ありがとうございました



議会に対する

主な要望

議会運営

- 複式簿記、公会計など議員も会計の勉強をするべき。
- 議員の活動が見えないもつとアピールしてもらいたい。

定数・報酬

- 議員報酬は低いと思う。議員のなり手がいなくなる。報酬を上げ若い人に議員になつてもら



活発な意見ありがとうございました（総合体育館）

い、町を活性化してもらいたい。

- 年4回開催の定例会で20万円の議員報酬は、一般社会と比較すれば高過ぎる。
- 人口から考えれば、議員定数は増やすか現状維持で良いと思う。
- 定数と報酬は、町民も参加して決めていく形を考えてもらいたい。

町に対する

主な要望

町営墓地

- 町営墓地の募集開始はいつ頃になるのか。
- 今の段階である程度価格をさせないのはおかしいのではないか。
- 500基では少ないのではないか。

文化複合施設

- 文化複合施設の建設予定地は長町ー利府断層に近い。そこにあえて建設するのか。もう一度考えてもいいのではないか。
- 施設の収支見通しはどうなっているのか。
- 規模縮小の考えはないのか。

まちづくり

- コラボ・スタジオの活用は。
- 市街化調整区域をどうするか話し合いを持つてもらいたい。

○浜田地区の「海の駅」整備の話はどうなっているのか。

- ペットのフンで困っている。ペット条例を作るべきでないか。

交通

- 大型商業施設の開業により利府街道が渋滞する。町としても対策が必要ではないか。
- JR利府線の増便・増発や、電車の利便性向上に関して議論されているが進展がない。
- 駅前駐車場は、駐車スペースが足りないのではないか。増やす予定はないのか。

行政対応

- 町の情報公開は非常に遅れている。住民の関心を高めるために情報公開を進めてもらいたい。
- 意見を行政に届けるための窓口が必要である。
- 保育所整備の話など、町からの説明が遅過ぎる。

意見・要望への対応

議会報告会でいただいた意見・要望は、議会運営委員会で内容を整理し、議会自ら取り組むべき項目は議会内で対応を検討します。

町政に対する事項は町当局に報告し、特に必要があるものは、常任委員会で調査活動を行いました。

調査結果や対応状況など詳細な内容は、全地区に回覧する「議会報告会実施報告書」に記載しております。

「実施報告書」は議会ホームページにも掲載しております。また、閲覧ご希望の方は、議会事務局までご連絡願います。

利府町議会 × 🔍 検索



実施報告書

お問い合わせ

議会事務局

TEL 022-767-2127
FAX 022-767-2110

E-mail
gikai2@rifu-cho.com

県補助金 大幅減額

一般会計補正予算 2,920万円追加し 149億8,900万円へ

補正予算



住民健康診断（野中一部公民館）

6月定例会は、6月14日から17日まで4日間の会期で開かれました。

町長から、補正予算などの議案10件、繰越計算書の報告8件、専決処分承認1件が提出され、審議の結果、すべて原案の通り可決しました。

一般質問では、7人の議員が登壇し、町制施行50周年、児童遊園整備、不妊症治療費助成、若者支援など、町政全般にわたり論戦を展開しました。

一般会計の主な補正予算項目（万円未満切り捨て）

歳入（収入）

項目	補正額	補正の理由
被災者健康支援事業補助金（県補助金）	-553万円	補助対象者が、民間賃貸借上住宅入居者、災害公営住宅入居者に限定されたことによる減額
一般コミュニティ助成事業	+250万円	花園町内会に対する「一般コミュニティ助成事業」補助金を追加するもの

歳出（支出）

項目	補正額	補正の理由
一般コミュニティ助成事業	+250万円	花園町内会の各種備品購入に対する助成
子ども・子育て支援システム改修	+178万円	国の新制度に対応するため、システム改修業務委託料を増額
健康診査業務委託	-182万円	県補助金の減額に伴い、社会保険加入者から自己負担額を徴収することによる委託料
下水道特別会計繰出金	+1,904万円	浜田中継ポンプ場復旧事業費の繰出しに伴う増額
中央公園野球場トイレ改修	+130万円	中央公園の野球場観客用トイレを、和式から洋式へ交換することに伴う工事請負費

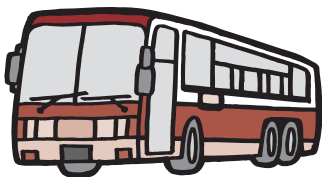
問 行政区長の研修旅費とあった。その内容と目的は。

答 北海道七飯町への1泊2日の視察研修旅費である。行政区長25人分と職員2人分を計上した。七飯町は、震災時の支

援が縁で災害応援協定を結んでいる。町内に北海道新幹線車両基地も完成した。震災時の支援に対する御礼と情報交換が目的である。

歳出 116万円増

行政区長視察研修
政策課



被災者特別健診

補正予算

歳入 553万円
特別健診者 保健福祉課

問 県からの補助金が減額となった。若年層の健康診断に充てている。国保の人は国保会計から出るが、社会保険の人は10000円の自己負担である。受診率が下がるのではないか。

答 18歳から39歳までの男性の健診事業で27年度から始まった。住民健診での受診希望者はむしろ増えている。



歳出 250万円増
助成事業 政策課

問 若い人の健診は大切である。この事業は男性の健診であるが、乳がんが30代の女性に多いという報道がある。受診率を上げる検討をしては。

答 国の指針で、乳がん検診は40歳以上となっている。国の動きを注視し検討したい。



問 花園町内会に250万円とある。その内容は。

答 やぐらステージと放送設備である。総額270万円のうち、250万円を補助するものである。

問 町内会に対する補助金交付の順番と、対象品目は何か。

答 26年度で全町内会を一巡した。これまでの順番を基本に二巡目に入っている。テントやエアコンなどの町内会備品を購入している。

歳出 1,904万円増
復旧作業 上下水道課

問 浜田中継ポンプ場の電源故障とある。原因と修理の内容は。

答 4月7日に故障が発生し、ポンプ場の機能が停止した。臨時の措置をして稼働はしている。完全復旧のための経費である。

問 どのくらいの期間停止したのか。緊急時の予備電源か自家発電の設備はないのか。

答 8時間から9時間停止した。電源の切り替えスイッチに停電時負荷が掛かり、緊急用の通報装置もすべて動かなくなった。



電源が故障した「浜田中継ポンプ場」

議案38号



コンビニ交付スタートにより

印鑑条例 を改正



役場の交付機は12月28日で終了します



10月1日から、マイナンバーカード(個人番号)を利用して、コンビニで印鑑証明書など各種証明書の交付ができるようになります。

これにより、12月28日をもって、ペア・パル利府(町民交流館)に設置してある証明書自動交付機のサービスは終了となります。

議案審議

議案39号



生涯学習センターを

児童クラブの サテライトへ



利府小学校の児童クラブは、28年度入所希望者が増え、待機児童が発生する見込みとなりました。

そのため、生涯学習センター1階西側プレハブ棟の町民活動ルームを、新しく児童クラブの※1サテライトとして使用するため、生涯学習センターの条例を改正するものです。



待機児童解消に向けて整備



議案45号



須賀漁港

はくちしゅんせつ 泊地浚渫工事

9,300万円(税込)



23年3月に発生した東日本大震災の津波により、須賀漁港内に蓄積した泥などの堆積物を※2浚渫する工事です。

問 非常に高い落札率だが、他の会社の入札額はいくらか。

答 A社8424万円、B社8400万円、C社9000万円、落札業者は8700万円である。

問 A社、B社は最低価格を割ったということか。

答 最低制限価格は割っていないが、入札額以外の評価で加点された落札業者が逆転した。

※1 サテライト=主施設から離れた場所で、同等の機能を持つ付属機関や施設のこと。

※2 浚渫=航路、水路、泊地などの水底、又は河川の川底の土砂を掘り取ること。

6月定例会 採決状況一覧

○賛成 ×反対 議長(櫻井正人)は採決に加わらない。

議案	鈴木 晴子	西澤 文久	後藤 哲	小淵 洋一郎	安田 知己	木村 範雄	土村 秀俊	吉岡 伸二郎	高久 時男	鈴木 忠美	吉田 裕哉	永野 涉	及川 智善	遠藤 紀子	渡辺 幹雄	郷近 隆夫	羽川 喜富	櫻井 正人	議決結果 (賛成：反対)
報告第2号～第9号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
承認第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認(17：0)
議案第38号～第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(17：0)

28年6月定例会提出議案 19件 (報告8件、承認1件、条例3件、補正予算4件、契約3件)

報告2 継続費繰越計算書

一般会計に属する「浜田地区避難路整備事業」、「須賀中倉線道路整備事業」、「須賀地区漁業集落防災機能強化促進事業」の3件を、28年度に繰越したことを報告

報告3 継続費繰越計算書

下水道特別会計に属する「浜田地区下水道事業」を、28年度に繰越したことを報告

報告4 繰越明許費繰越計算書

3月定例会で議決された一般会計に属する15件の事業を、28年度に繰越したことを報告

報告5 繰越明許費繰越計算書

3月定例会で議決された国民健康保険特別会計に属する1件の事業を、28年度に繰越したことを報告

報告6 繰越明許費繰越計算書

3月定例会で議決された下水道特別会計に属する2件の事業を、28年度に繰越したことを報告

報告7 繰越明許費繰越計算書

3月定例会で議決された町営墓地特別会計に属する1件の事業を、28年度に繰越したことを報告

報告8 事故繰越し繰越計算書

須賀漁港護岸等機能強化事業が、年度内に完了できなかったことから、28年度に繰越したことを報告

報告9 水道事業会計予算繰越計算書

赤沼字須賀地内配水管布設その2工事を、28年度に繰越したことを報告

承認1 専決処分の承認

地方税法等の一部改正に伴い、町税条例等の一部改正を専決処分するもの

議案38 印鑑条例の一部改正

コンビニで、マイナンバーカード利用による印鑑証明書等の交付を10月から実施するため、所要の改正を行うもの

8ページに掲載

議案39 生涯学習センター条例の一部改正

生涯学習センター西側の町民活動ルームを利府小児童クラブのサテライトとして使用するため、利用可能施設から除外するもの

8ページに掲載

議案40 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

国が定める基準の省令に準じ、同様に改正するもの

議案41 28年度一般会計補正予算

歳入は、被災者健康支援事業補助金の減額、一般寄附金及びコミュニティ事業助成金などの増額

歳出は、人事異動に伴う調整、下水道事業特別会計繰出金、まちづくり支援事業などの増額
(2,920万2,000円増)

6ページ・7ページに掲載

議案42 28年度国民健康保険特別会計補正予算

若年層における健康診査事業の一般会計からの予算の組替え及び人件費を調整
(149万1,000円増)

議案43 28年度下水道特別会計補正予算

管きよ等長寿命化対策補修工事、浜田中継ポンプ場復旧工事費の増加等に伴う増額
(2,404万円増)

議案44 28年度水道事業会計補正予算

人件費の調整

議案45 工事請負契約の締結

須賀漁港泊地浚渫工事

8ページに掲載

議案46 工事請負契約の締結

利府中学校トイレ改修機械設備工事

議案47 工事請負変更契約の締結

町道須賀中倉線道路新設工事
硬岩掘削を増加し、良質土に置換えするため、軟弱層の掘削、軟弱土及び良質土の運搬を増工するもの

我が町政を問う

一般質問

6月定例会では、7人の議員が20件の※一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。

質問と答弁を要約した内容は、11ページから17ページです。

なお、全文記録(議事録)は、8月下旬に利府町議会ホームページに掲載しますのでご覧ください。

遠藤 紀子 (11ページ)

- 町制施行50周年の事業
- 子どもとソーシャル・ネットワーキング・サービス

安田 知己 (14ページ)

- オートキャンプ場と遊歩道の整備
- 幼稚園への支援
- 子どもの体力向上

鈴木 忠美 (12ページ)

- 児童遊園の整備
- 新利府駅の環境整備
- 選挙の投票率向上対策
- 町営墓地の供用開始と使用料

後藤 哲 (15ページ)

- 中学校吹奏楽部の楽器購入補助
- お迎え付き病児・病後児保育事業
- 改正障害者総合支援法の取り組み

木村 範雄 (13ページ)

- 「学校徴収金支援事業の復活」と「子ども医療費助成」
- 少子化対策の取り組み方
- 企業誘致で働く世帯の増加

鈴木 晴子 (16ページ)

- 不妊症・不育症治療費の助成
- 聴覚障がい児支援策
- 三世帯同居支援

土村 秀俊 (17ページ)

- 公共事業の入札・契約の適正化
- 若者支援の取り組み

※ 一般質問＝議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。本町議会の質問時間は、1人30分以内で、答弁時間は含まない。



えんどう 遠藤 のりこ 紀子

一般質問

問 町制施行50周年の計画は

答 テレビ番組の誘致も含め検討する

問 29年10月に町制施行50周年を迎える。記念式典やイベントの計画は。
答 10月1日に式典を開催する。テレビ番組の誘致も含め、イベントを検討する。

問 40周年は、5月からイベントが始まった。もう準備段階ではないか。
答 まだ組織化はできていない。各課で企画・提案を募集している。
問 29年は河北新報が120周年、河北展が80周年を迎える。子ども美術展の計画もある。河北新報との協力を考えては。
答 29年は河北新報が120周年、河北展が80周年を迎える。子ども美術展の計画もある。河北新報との協力を考えては。



新しい町誌の発行はあるのか

問 良い話と思う。今後検討したい。
答 町誌は、昭和61年に発行された。新しい町誌を作る考えはないか。
問 必要性は、十分認識している。
答 興味深い内容の町誌である。在庫はあるのか。
問 500部程度ある。販売をPRしていきたい。

問

※1 SNSの問題に親も含めた教育を

答 PTA行事で実施している

問 小、中学生の携帯電話やスマートフォンの所持状況を把握しているのか。
答 4月に、小学4年生以上、中学全学年で調査している。

問 SNSに関する相談は、専門家を入れる必要があるのでは。
答 SNSに関する相談は、専門家を入れる必要があるのでは。

問 所持状況は小学校40%、中学校58%である。
答 4月に、小学4年生以上、中学全学年で調査している。

問 安易な書き込みによるネット犯罪や、高額請求、情報の流失など大きな問題がある。親も含めた教育が必要ではないか。
答 情報モラルの理解や子どもへの対応は、PTAの中学校区合同研修や行事などで実施している。

問 ※2 ラインなどで友人とつながっていると思う。SNS関係のいじめはあるのか。
答 悪口をラインに書いたことで、いじめのなも

問 悪口をラインに書いたことで、いじめのなも

※1 SNS=ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。人と人とのつながりを促進・支援する、コミュニティ型のWebサイトおよびネットサービス。

※2 ライン=個人やグループで、無料通話やメッセージ送信ができる通信手段。



ただみ 忠美
き 鈴木 すす

一般質問

問
森郷児童遊園
案内板・S Lの補修は

答
補修資金の調達も含め
検討する

問 案内板設置後、40年以上経過し老朽化している。補修する考えは。

答 27年から計画的に補修を進めている。



痛みが激しいS L (森郷児童遊園)

問 文字が消え、注意書きが読めず、柱も倒れる危険性がある。先行して取り組むべきではないか。

答 早めに補修していきたい。

問 蒸気機関車を補修する考えは。

答 多額な費用を要するため、資金調達の方法も含め検討していきたい。

問 S L設置後、41年目である。その間、補修したと思うが、かなり痛んでいる。子どもたちが触って怪我をする危険性もある。J Rとの契約はどうか。

答 昭和50年に契約を結んでいる。

問 契約上、維持管理はどうなっているのか。

答 管理は町である。

問 維持管理が不十分では。

答 条件が整い次第、計画的に補修していきたい。

問
新利府駅
環境整備の
取り組みは
答
関係機関と協議し
検討していく

答 新利府駅の利用を考えた旨の話があり、現在詰めている。

問 駅南側は、農業振興区域だが、3分の1が減反である。将来の開発構想を考えるべきではないか。

答 減反は国の農業政策で厳しい規制がある。開発は難しい。現在計画中の開発が終わった後に考えたい。

問 商業施設開業後、新利府駅利用者の想定数はどうか。

答 建築面積が決まった時に事業者から示されると思う。

問 出店による経済効果も含め、町が新利府駅を整備すべきではないか。

答 第二の利府駅として重要だが、開発は困難である。

これも質問

問 共通投票所の設置を

答 課題解消の調査研究に努める

問 町営墓地の供用開始時期は

答 9月中旬を目指す



おのり 木村 範雄

一般質問

問 県の子ども医療費補助対象は、「3歳未満時の通院費」と「就学前の入院費」で、全国でも最低である。県が対象年齢を就学前まで拡大すれば、町の収入はどのくらい増えるのか。

答 1200万円程度と考えている。

問 子どもの医療費の拡大は認めるが、子ども医療費助成制度を拡大するための財源として、学校徴収金支援事業の廃止は認められない。県からの新たな財源が見込めれば、学校徴収金支援事業を復活させるべきでは。

答 県の補助内容が決まらないうちは、学校徴収金支援事業の話はできない。

問 新たな財源は、子ども医療費助成、もしくは学校徴収金支援事業の拡大に使うべきだ。

答 バランスの取れた財政運営のため、検討はするが確約はできない。

問 町外のひととの結びつきを作ることも必要な課題だが、どのような働き掛けをしていくのか。

答 町は、民設民営という基本的な施策をもっている。今後も民間の力を導入しながら進めていきたい。

問 女性の社会進出に合わせ、労働環境の整備も必要である。待機児童解消のため、公立保育所の整備をすべきでは。

答 イベントの周知や、町内企業に対しても参加を呼び掛けていきたい。

問 婚活カフェは29年度から実施としている。どのくらいの頻度・参加者を想定しているのか。

答 結婚を望む人が気軽に参加できる出会いの場を目指し、まちづくり大学などで実施に向け準備していききたい。

問 婚活カフェは29年度から実施としている。どのくらいの頻度・参加者を想定しているのか。

答 イベントの周知や、町内企業に対しても参加を呼び掛けていきたい。

問 学校徴収金 支援事業の復活を

答 県の内容が示された段階で検討



子育て支援の利府町を

問

少子化対策

※婚活カフェは どうするのか

答

広くボランティアを 募りながら検討

問 婚活カフェは29年度から実施としている。どのくらいの頻度・参加者を想定しているのか。

答 イベントの周知や、町内企業に対しても参加を呼び掛けていきたい。

問 結婚を望む人が気軽に参加できる出会いの場を目指し、まちづくり大学などで実施に向け準備していききたい。

問 女性の社会進出に合わせ、労働環境の整備も必要である。待機児童解消のため、公立保育所の整備をすべきでは。

問 町外のひととの結びつきを作ることも必要な課題だが、どのような働き掛けをしていくのか。

答 町は、民設民営という基本的な施策をもっている。今後も民間の力を導入しながら進めていきたい。

これも 質問

問 企業誘致で働く世代の増加を

答 進出企業には住民の優先的雇用を働きかける

※ 婚活カフェ＝結婚希望の男女が気軽集い、カジュアルにお見合いができる“新しい婚活スタイル”。町では、りふレ横丁をカフェとして想定しており、婚活促進と駅周辺活性化を推進する計画がある。



やすだ ともみ
安田 知己

一般質問

問 町の発展にオートキャンプ場の整備を

答 立地、費用の問題を調査研究する

問 ホテルなどの宿泊施設ではなく、町の立地条件を生かしたオートキャンプ場の整備が必要ではないか。

答 コンサートなどで訪れる人は多いが、宿泊施設は少なく、滞在時間も短い。オートキャンプ場の整備は研究する。



町の立地条件を生かした「オートキャンプ場」の整備を

問 定年退職した人がキャンプングカーを利用することが多くなった。オートキャンプ場を整備すれば、仙台市や塩竈市、松島町に行く人の宿泊地となる。経済効果をもたらすのではないか。

答 施設の面積や立地場所、費用の問題、経済効果など、さまざまな課題がある。将来に向けて研究する。

問 加瀬沼公園の一部をキャンプ場として泊まれるようにすれば、多くの人利用すると思う。県も観光に力を入れている。協議してはどうか。

答 県が公園として管理しているので難しい。

問 障がい児が通う幼稚園に補助金を

答 補助制度の創設は考えていない

問 県の補助金はあるが、新たに職員を雇用すると、それだけでは足りない。県の補助金に加え、町独自の補助金が必要ではないか。

答 町では施設補助金や就学奨励補助金などで支援している。県と町を合わせた補助制度を活用して欲しい。

問 幼稚園は職員配置の人員費がネックとなつて、障がい児の受け入れを躊躇するのは問題である。障がい児と保護者が、苦勞しないように支援するのが自治体の役割ではないか。

答 障がい児だけに特化した補助金ではなく総合的に補助している。それぞれの幼稚園で検討してもらいたい。

これも質問

問 子どもの体力を向上させる取り組みを

答 各学校で運動する機会を作っている



藤 後 とう 哲 おお

一般質問

問 七ヶ浜町では、楽器購入費及び修理費を吹奏楽部の部費ではなく、学校の予算として2校分まで100万円計上している。松島町も同様である。学校の備品として予算計上してはどうか。

答 楽器の購入や修理を行うため、各中学校へ20万円程度予算を計上している。

問 しらかし台中学校では、楽譜購入や楽器修理などを、吹奏楽部の親の

答 親の会で購入した楽器もあるようだ。今後、学校の要望や生徒数の推移等を考慮し計画的な購入、修理を検討したい。

問 中学校吹奏楽部へ 楽器購入補助を

答 各学校と調整し 計画的に対応する



スクールバンドフェスティバル

問 病児・病後児保育 事業の拡充を

答 地域全体で 体制づくりを検討する

問 仕事と子育ての両立の支援として、愛媛県伊予市は28年度から市運営のお迎えつき病児・病後児保育事業をスタートさせた。全国初の取り組みとして注目されているが、実施してはどうか。

答 この事業で、女性はもちろんに働きやすくなり、利府町に住んでみたい、住み続けたいと思うのでは。

問 働く保護者には大変有意義で、全国的にも珍しい先進的な事業と思う。実施するには、送迎人員の確保、事故対応など整理課題がある。近隣市町村の動向を確認し、地域全体で体制づくりを検討したい。

答 働く女性の支援は続けなければならない。全国的にファミリーサポートセンター事業の中で、その事業を進めていく動きがある。本町としても安全性を一番に考え、前向きに調査研究していきたい。

これも 質問

問 ※改正障害者総合支援法の取り組みは

答 国の動向を踏まえ 情報収集に努める

※ 改正障害者総合支援法=30年度から施行。65歳で障害福祉サービスから介護保険サービスに移行する際に生じる自己負担を、低所得者に限りゼロとする救済策などが柱。障がい児への支援も拡充する。



はるこ 子晴
すずき 鈴木

一般質問

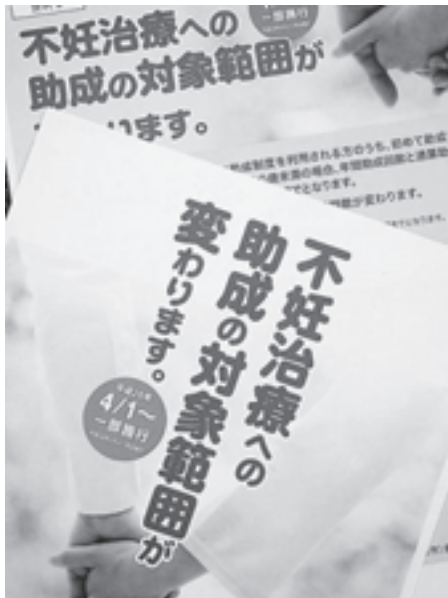
問 不妊治療へ町独自の助成を

答 近隣自治体を注視し検討する

問 県内の市町村では独自の不妊治療助成を行っている。最近では塩竈市

と亘理町がスタートさせた。本町としても早急に進めてはどうか。

答 晩婚化など、さまざまな理由から不妊治療を受ける人が増加している。近隣自治体の状況を踏まえ検討したい。



町独自の助成を

答 国の動向を見守りながら、調査研究する。

問 妊娠しても流産や死産となってしまう不育症の人へ治療費を助成してはどうか。

答 必要な情報が取得できるよう、構成を考えたい。

問 国は、少子化対策として不妊治療費の助成を拡充した。若い人への周知にはホームページを充実させる必要がある。町のホームページでは助成内容が詳しく分からない。

問 聴覚障がい児に支援を

答 今後、調査研究する

問 人工内耳の電池は、数年程度で交換が必要であり、費用も高額である。先進自治体では助成を行っている。人工内耳を装着している聴覚障がい児へ、電池等を助成してはどうか。

答 早期発見が有効な手段である。母子手帳交付の際に検査の必要性の啓発をしていきたい。現在助成している自治体がないことから、今後調査していく。

問 聴覚障がいは、早期発見、治療により言語発達の面で効果を得られる研究結果がある。国は24年度から母子手帳に聴覚スクリーニング検査結果記載欄を設け、積極的に推進している。町で全ての新生児に聴覚スクリーニング検査費用を助成してはどうか。

答 電池助成は、国の定める補装具、日常生活用具の給付対象となっていない。全国的には助成している自治体はあるが、普及していない。今後調査する。

これも質問

問 孫育ての祖父母手帳を発行しては
答 作成を検討していきたい



つちむら ひでとし
土村 秀俊

一般質問

問 適正な入札制度で税金の負担軽減を

答 価格と品質に優れた入札に努める

問 今後、文化複合施設整備や利府小の建替えなど多額の税金が使われる。落札率によっては、支出が数億円違ってくる。落札率軽減の取り組みをどう考えるか。



適正な入札で競争原理向上を

答 最低制限価格の設定や低入札価格調査を活用するなど、公平性、透明性、競争性を保ち、総合的に優れた入札になるよう努める。

問 一般競争入札の価格設定を引き下げ、より多くの業者が入札参加できるようにすべきではないか。

答 復興事業の完了とともに、県内の自治体と歩調を合わせ、価格設定引き下げをしていく考えである。

問 入札制度の適正化、透明性、競争原理向上に向け、入札監視委員会を設置すべきではないか。

答 近隣との共同設置、または監査委員に委託するなど、調査・検討している。

問 町に住む若者へ家賃補助を

答 戸建ての定住で町の活性化につなげたい

問 農業や商工業は、地域経済の活性化に大きな役割を果たしている。それを支える青年後継者に対し、町独自の支援を検討しているのか。

答 他自治体で実施している就農時の一時金支払いや、農地賃借料、農業共済金への補助金などを検討して行きたい。

問 若者の移住定住を促す取り組みの一つとして、賃貸住宅に月額1、2万円の家賃補助を実施する自治体が増えている。奨学金返済もあり大変だが、多くの若者が町に住めるよう家賃補助を検討する考えはないか。

答 本町は仙台圏にあり、アパートに住む若い人は多い。将来戸建てに住んでもらうことで、町の活性化につながると考えている。定住に向け努力していきたい。

総務財務 常任委員会

4/28 5/31

デマンド交通 システムの検証

職名	氏名
委員長	吉岡伸二郎
副委員長	高久 時男
委員	渡辺 幹雄
委員	土村 秀俊
委員	鈴木 晴子

4月28日に、総合交通対策の取り組みを、政策課より説明を受けました。

○ミヤコーバスと町民バスの今後の展開

大河原町 デマンド交通視察研修

大河原町では、1回300円で地元タクシース会社で、予約制乗り合いで運行しています。町への導入には、課題等慎重な検討が必要だと感じました。

○デマンド交通
・路線定期型交通とデマンド型交通の一般的な特徴
・県内のデマンド交通導入市町村



大河原町の「さくらっき一号」

産業建設 常任委員会

4/21 5/26

町内の梨園を 現地視察

職名	氏名
委員長	後藤 哲
副委員長	安田 知己
委員	郷右近隆夫
委員	永野 渉
委員	羽川 喜富
委員	吉田 裕哉

4月21日に産業振興課から「利府梨の現状と課題」の説明を受けました。その内容を踏まえ、5月26日に生産者の「生の声」を聞くため、梨農家二軒を視察しました。

主な品種

あきづき・長十郎・幸水

先進的な取り組み

- ・水田を埋め立て、梨園に転用
- ・最新の農業機械の導入
- ・海外を含む販路拡大の計画

年間を通して、手間と時間を掛けることにより、皆様から愛される「美味しい利府梨」ができることが分かりました。後継者問題など、多くの課題も改めて認識しました。

先進的な取り組みをしている梨農家



教育民生 常任委員会

5/19

認知症施策の 取り組み

職名	氏名
委員長	遠藤 紀子
副委員長	鈴木 忠美
委員	及川 智善
委員	西澤 文久
委員	木村 範雄
委員	小淵洋一郎

7月20、21日の先進地視察に備え、保健福祉課から「認知症施策の取り組み」の説明を受けました。

本町の認知症予防施策の取り組みを確認しました。今後も、調査・研究してまいります。

主な内容

- ・軽度認知症に関する対策
- ・認知症カフェの取り組み（開催場所・内容等）
- ・認知症施策で地域に求められること





- ・ 議会報告会の検証
- ・ 定例会の運営

議会運営委員会



多くの意見が出されました

5月の報告会開催に向けた協議を進めました。開催後は、寄せられた課題を整理・検証し、実施報告書を作成しました。また、継続開催に向け協議しました。
(2～5ページに掲載)

議会報告会

6月定例会の議案や日程など運営に関する協議を行いました。また定例会終了後、一般質問や議案審議の内容など全体的に検証しました。

議会運営

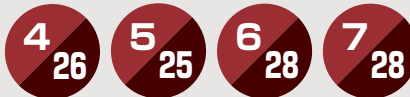
4月から7月にかけて、6回委員会を開催しました。主な内容は次の通りです。

職名	氏名
委員長	吉田 裕哉
副委員長	木村 範雄
委員	渡辺 幹雄
委員	遠藤 紀子
委員	後藤 哲
委員	羽川 喜富
委員	吉岡伸二郎



- ・ 他自治体の状況調査
- ・ 論点の整理

定数・報酬 特別委員会



3月に委員会を設置した後、月1回開催しております。4月はこれまでの定数・報酬等の経緯を確認し、課題の洗い出しを行いました。5月には定数、費用弁償、6月には報酬、政務活動費を協議しました。

職名	氏名
委員長	及川 智善
副委員長	西澤 文久
委員	郷右近隆夫
委員	羽川 喜富
委員	吉田 裕哉
委員	木村 範雄
委員	高久 時男
委員	安田 知己
委員	鈴木 晴子

三知恵

政務活動費とは

Q どんなことに使えるの？

A 議員が、政策のために調査・研究をする活動に対し、支給される費用です。

主に先進地視察、会報の発行、書籍購入などに使われています。

Q 利府町ではいくら支給されているの？

A 1人あたり、月額1万5千円、年額で18万円となります。

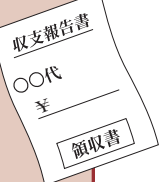
Q チェックはどうやっているの？

A 収支報告書の作成が義務付けられており、1円単位で領収書を必ず添付します。年度毎に「領収書・現金出納帳・通帳」を複数の職員でチェックしています。

Q 残ったお金はどうするの？

A 年度毎に精算し、返金しています。近年は、全体で約75%が使われている状況です。

利府町議会では、慶弔費、選挙活動、宴会費など支出できない項目を定め、適正な政務活動費の執行に努めています。



あの提言は どうなってるの？



整備が待たれる館山公園

館山公園整備の 取り組みは

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

館山公園の整備に関しては、桜の被害、トイレ改修、駐車場など様々な問題があり、議会でも多くの質問が出されています。

追跡レポート

25年6月定例会

- 答** 効果的な防除を調査研究し、対策を実施したい。
- 問** ※ウソの被害で桜の開花を見ることができなかつた。今後の対策は。



24年6月定例会

- 答** 用地買収、埋蔵文化財関係の課題も多く、利用状況を見極め、整備を検討する。
- 問** 館山公園PRのため、看板を設置してはどうか。
- 答** 史跡、名勝PRに効果的と認識している。これから進めていきたい。
- 問** 道路の幅と駐車場が狭い。整備する考えは。

27年9月定例会

- 答** 照明灯の設置は考えていない。
- 問** 桜の開花期間中、利府小学校脇の登り口に、照明灯を設置する考えはないか。

館山公園に登る町道は、町営墓地の整備に合わせて行っております。

27年2月地権者同意のもと、杉の木など約70本が伐採されました。

26年12月定例会

- 答** 地権者との交渉を重ねている。
- 問** パノラマ展望確保のため、南側斜面の杉の木、雑木伐採の取り組みは。

26年6月定例会

- 答** 浄化槽の放流先、水道管の水圧問題から現在、汲み取り式になっている。今後現地に合ったトイレを調査研究する。
- 問** 公園内トイレ2か所を汲み取り式から簡易式トイレに改修できないか。

※ ウソ=鳥類の一種。サクラの花芽を食べたりする。

いきいき活動

町内で活動している団体やサークルを紹介します。また、議会に対する意見もいただきました。



地域部活 『エコあぐり部』

ー「地域部活 エコあぐり部」の活動内容を教えてください。

先生や生徒、地域の人と一緒に、無農薬、無化学肥料の野菜づくりをしています。「部活」と称して、毎週日曜日の朝8時から2時間ほど作業しています。農作業体験や食育のイベントも開催しています。

ー活動が始まった時期ときっかけは。

震災の1年後、2012年3月11日に、しらかし台中学校の北側空き地を開墾し、スタートしました。きっかけは、震災の経験から、食の安全を考えると、地域の人が手をつなぐ場が欲しかったことです。

現在の会員が、当時はPTA会長、副会長でしたので、活動開始時に中学校へ働きかけました。

ーどのような種類の野菜がありますか。

ナス、キュウリ、トマトはもちろん、ズッキーニや里芋、ヤーコンに様々なハーブ類やベリー類等、40種類程です。ニンニクは、とても楽に栽培できます。

ー会員数は。

現在8人です。特に募集はせず、口コミで集まりました。会員の他に、学生や先生も時々手伝ってくれます。

ーご苦労された点は。

中学校に、ソーラーパネルを設置することになり、せっかく開墾した農園を手放し、2015年にしらかし台インターそばの現在の場所へ移転しました。土地を300坪お借りしていますが、場所が移ったため、生徒の参加が難しくなりました。

また、農業や化学肥料を一切使用せず、草も刈らない自然農法で野菜本来の味を追求しているため、害虫の被害にあったなど失敗もあります。

ーこれからの展望を。

これまで「さわおとの森」と協力し、障がいのある子どもとの農業体験や、PTAを中心とした味噌づくりなどのイベントを開催してきました。味が濃く、美味しい野菜を色々な人に味わって欲しいですし、商品化の可能性も探っていきたいと思っています。さらには、「※循環型社会を目指したい」という大きな目標を持っています。

ー「議会だより」に一言を。

議会の内容は「議会だより」で、良く知ることができます。以前より読み易くなりましたが、若い人の声を聞くページがあればと思います。

ありがとうございました。これからも地域の人を巻き込んで、野菜本来の味を楽しめるような活動を期待しております。



美味しい野菜が育ちますように♪

連絡先・お問い合わせ

ecoagriclub@gmail.com
なるさわ 成沢さん

活動団体は、営利活動を目的としない公共性・公益性が高いボランティア的な団体を掲載しています。

住民の 声 こえ

連載
シリーズ

年度ごとにテーマを設定し、4回にわたり住民の皆さまから意見をいただきます。

28年度テーマ

選挙権年齢の18歳引き下げ (2回目/全4回)



『投票するまでの
プロセスを大切に
しましょう』

しも やま まこと
下山 誠さん
(しらかし台)

選挙権年齢を「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が6月19日に施行されました。一票の積み重ねが国民の重要な意思決定に繋がることは、大阪都構想の住民投票、イギリスのEU離脱国民投票を見れば明らかです。そんな重要な選挙権が18歳で得られる時代が来ました。

選挙権年齢の引き下げによって、新たに選挙権を有することとなった若者の声として、「誰に投票すべきか立候補者のことがよくわからない」「各政党の主張が理解できない」「働いて税金を納めていないのに選挙権があっていいの?」「中学・高校の授業で勉強していなかった」など戸惑いの声が少なからず上がっているようです。

政治家は任期期間での成果を重視しがちのようですが、我々有権者は任期期間だけでなく将来の課題も見据えて判断すべき場合もあります。また、限られた立候補者の中からすべての主義・主張・政策が一致する候補者を選ぶことは困難であり、たとえ自分が選んだ人が当選したとしても公約通り行動する保証もありません。

しかしながら、若い人たちに伝えたいのです。権利を放棄し棄権したり、何も考えず知名度や雰囲気投票するのは何のプラスにもなりません。何事もプロセスが大切です。自分なりに立候補者の主義・主張・政策を理解しようとする努力が肝要と考えられます。わからないことは、調べる、人に聞く謙虚な姿勢が大切です。社会人として成長していく機会と考えましょう。

みんなの議会 傍聴しませんか

- 次の定例会は、**9月6日(火)から9月16日(金)**を予定しています。
- 傍聴の際は、住所、氏名、性別、年齢(○歳代)を記入していただきます。
- 審議日程など、詳しいことは、議会事務局(TEL 022-767-2127)にお尋ねください。

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

この議会だよりは1万3,500部作成し、1部あたりの印刷製本費は約16円です。



編集作業中の委員

議会広報常任委員会

委員長 羽川 喜富 副委員長 鈴木 忠美
委員 遠藤 紀子 吉田 裕哉 高久 時男
 安田 知己 鈴木 晴子

発行 **利府町議会**

〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地
TEL:022-767-2127 FAX:022-767-2110